



# スポーツカムシャフト 取扱説明書

商品番号 : 01 08 0062  
適応車種 : CUB50  
フレーム番号: AA04 1000001~

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。  
ご使用につきましては、説明書をよくお読みになって、指示を必ず守りご理解の上でご使用下さい。

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

## 特 徴

ノーマルエンジンに取り付けるだけで高速域の出力がアップします。  
また、弊社製マフラーを取り付ける事により更なる出力アップが可能です。

## ！空燃比についてのご注意！

弊社製ボンバーマフラーと同時に使用されますと空燃比が適正值とならず、エンジン破損の可能性があります。必ず弊社製F I .CONを同時に装着して下さい。

**！注意** この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を使用して行って下さい。  
( 部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・点検、整備は、定期的に行ってください。  
( 点検、整備を怠るとエンジン破損の原因につながります。)
- ・点検、整備を行った際、損傷部品があれば、必ず損傷部品の交換をして下さい。  
( 損傷部品の使用を続けると、エンジン破損の原因につながります。)

**！警告** この表示を無視した取り扱いをすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。  
( そのまま、走行すると事故につながる恐れがあります。)
- ・エンジンを運転する場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では行わないで下さい。  
( 一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、エンジンを安定させ、安全に作業を行ってください。  
( 不安定な状態での作業は、エンジン等が倒れてケガをする恐れがあります。)

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。  
クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させていただきます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

この取扱説明書は、本製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

## ～ 商 品 内 容 ~



品 名	個数
カムシャフトCOMP.	1

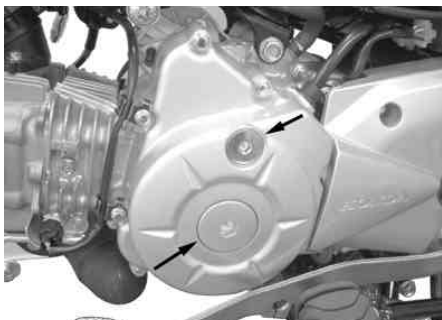
## ～取り付け要領～

### カムシャフトの取り外し

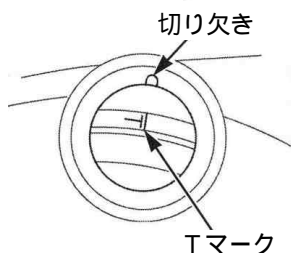
ボルト2本を取り外し、L シリンダーヘッドサイドカバーを取り外す。



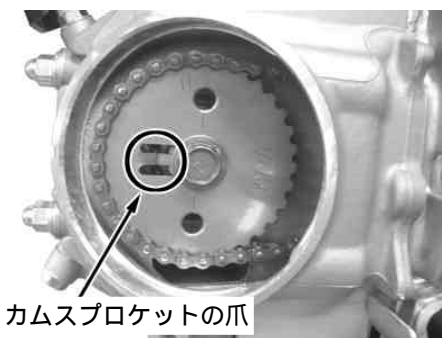
キャップ2つを取り外す。



クランクシャフトを反時計方向に回し、フライホイールの“T”マークをクランクケースカバーに合わせる。

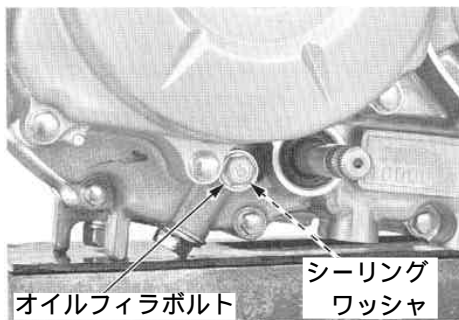


カムプロケットの爪が前方を向いている事を確認する。後方を向いている場合は再度クランクシャフトを反時計回りに1回転させる。



カムプロケットの爪

チェンジペダルシャフトの横にあるオイルフィラボルトを取り外す。



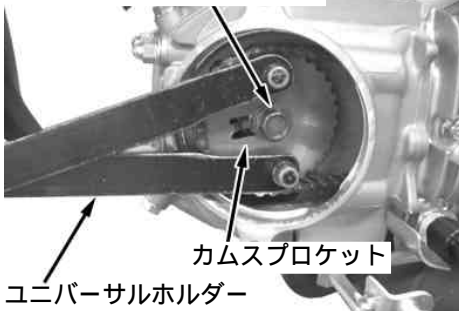
少しオイルが出てきますので締め後は拭き取って下さい。

専用工具を使用してカムプロケットを固定する。

専用工具

ユニバーサルホルダー：00 01 1002

### カムプロケットボルト



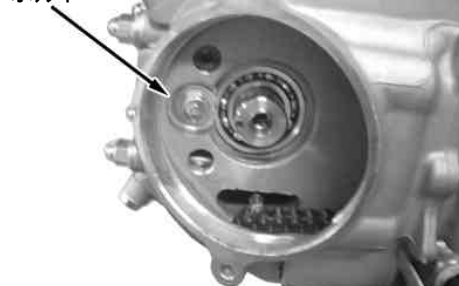
カムプロケットボルトをカムシャフトから外す。

カムチェーンをカムプロケットから外してカムプロケットを取り出す。

シリンダーヘッドよりワッシャ、ボルト、カムシャフトを取り外す。

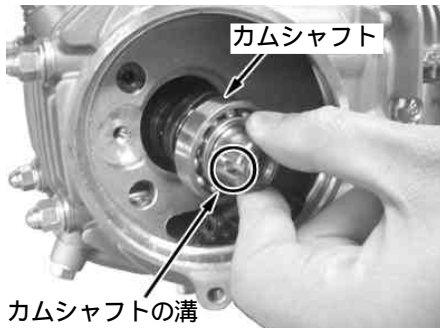
カムシャフトの取り外し、取り付けが出来無い場合はシリンダーヘッドナット4つを緩める事で取り外し、取り付け出来ますが、その場合は、ヘッドガスケットの交換が必要になります。

ワッシャ、ボルト



### カムシャフトの取り付け

キットのカムシャフトを取り付ける。ロッカーアームをバルブ側に押しながら、カムシャフトの溝をロッカーアーム側に向け、カムシャフトをシリンダーヘッドに取り付ける。入り難い場合でもハンマー等は使用しない事。



カムシャフトの溝

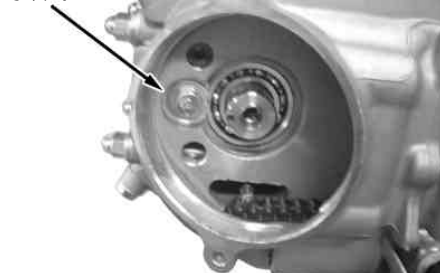
取り外したワッシャ、ボルトを取り付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

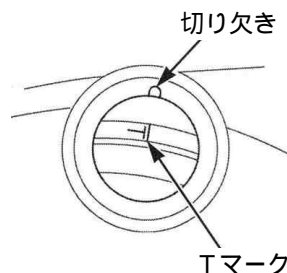
ストッパープレートボルト

: 12 N・m (1.2 kgf・m)

ワッシャ、ボルト



フライホイールの“T”マークをクランクケースの切り欠き部に合わせ、ピストンを圧縮上死点に合わせる。



カムプロケットの突起を前方方向に向け、タイミングマークをシリンダーヘッドカバー合わせ面に合わせ、カムチェーンをかける。

### カムチェーン



突起

カムプロケット

ボルトのねじ部、座面にエンジンオイルを塗布する。専用工具を使用してカムプロケットを固定する。

ボルトを取り付け、指定トルクで締め付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。  
トルク：2.7 N・m (2.8 kgf・m)

### カムプロケットボルト

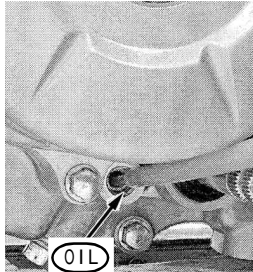


カムプロケット

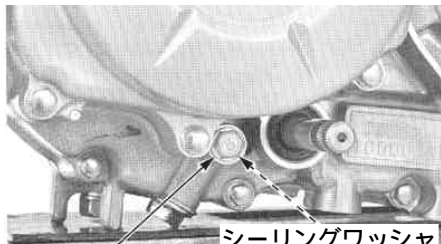
### ユニバーサルホルダー

ボルト穴からプッシュロッド内部に4ccのエンジンオイルを注入し、先程取り外したオイルフィルアボルトを取り付け、締め付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。  
トルク：1.0 N・m (1.0 kgf・m)



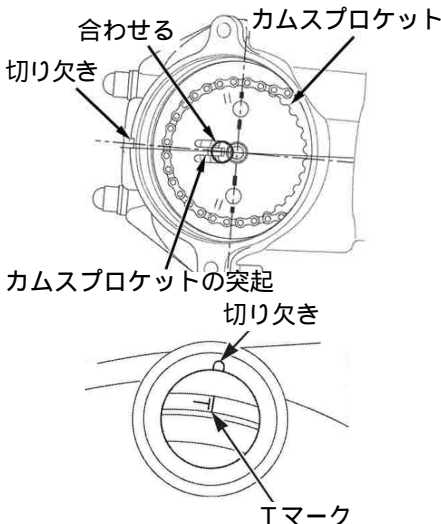
OIL



シーリングワッシャ

### オイルフィルアボルト

クランクシャフトを反時計回りに2回転し、フライホイールの“T”マークとケースの切り欠き部とカムプロケットの突起が前方を向いた状態でタイミングマークがシリンダーヘッドカバー合わせ面に合っているかを確認する。



## バルブタイミング調整とタペット隙間の調整

タペット調整の際、エアクリーナーとスロットルボディーに工具が干渉します。ブリーザーホースの接続を外しインシュレーターのボルト2本、エアクリーナーケースのボルト2本を取り外し、コネクティングチューブバンドのスクリューを緩め接続を外し作業スペースを確保する。



インシュレーターボルト

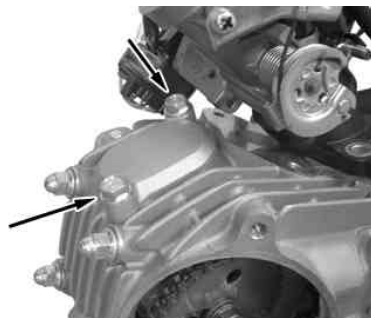


エアクリーナーケース  
マウントボルト



コネクティングチューブバンド

クランクシャフトを反時計回りに2回転し、フライホイールの“T”マークとケースの切り欠き部とカムプロケットの突起が前方を向いた状態でタイミングマークがシリンダーヘッドカバー合わせ面に合っているかを確認する。それぞれ2本のボルトを取り外し、シリンダーヘッドからIN、EX側のバルブアジャストホールキャップを取り外す。

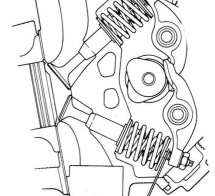


ロッカーアームのタペットアジャスティングスクリューを締め込んでいき、タペットアジャスティングスクリューとバルブシステムエンドの間にシクネスゲージを入れて少し抵抗があるくらいで引き抜ける様に合わせてタペットアジャスティングナットを締め付ける。

IN/EX : 0.10 ± 0.02 mm

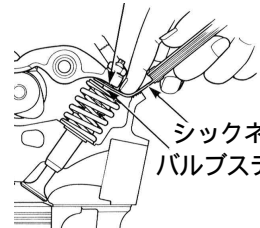
タペット調整後、反時計方向にフライホイールを2回転した後で“T”マークと“O”マークタイミングマークを合わせる。タペットすき間が変化していないか点検し、すき間が合っていればOK、狂っている場合は調整する。この作業を合うまで繰り返して下さい。

バルブクリアランス  
(インテーク側)



バルブクリアランス  
(エキゾースト側)

### アジャストスクリュー



シクネスゲージ  
バルブシステムエンド



識別マークを後方に向けて各バルブアジャストホールキャップを取り付けボルトを確実に締め付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。  
トルク：1.0 N・m (1.0 kgf・m)



識別マーク

→ 後方

取り外したスロットルボディー、エアクリーナーケースを逆の手順で取り付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。  
インシュレーターマウントボルト  
：1.2 N・m (1.2 kgf・m)  
エアクリーナーケースマウントボルト  
：1.0 N・m (1.0 kgf・m)

株式会社 SPECIAL PARTS 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号  
TEL 0721 25 1357 FAX 0721-24-5059  
お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857  
URL http://www.takegawa.co.jp